

DIC 株式会社

2019年度決算 説明資料

2020年2月

Color & Comfort

ハイライト

19年の振り返り

- 売上高は、減収。世界的に景気減速の影響がみられ、電気・電子や自動車向け材料を中心に広範な分野で出荷が落ち込んだ
- 営業利益は、大幅減益。高付加価値製品を中心とする出荷数量の落ち込み、一部品目における製品価格の低下、円高による海外事業の換算目減りが利益を押し下げた
- 営業利益率は、原料価格の低下や合理化によるコスト削減効果により1Qを底として改善。中国・東南アジアでは2Qから増益に転じた
- 純利益は、大幅減益。災害や買収関連の一時費用のほか、事業の効率化を目的とした一時費用が発生した

20年の見通し

- 全セグメントで増収・増益の見通し。中期経営計画の基本戦略である「事業体質の強化」と「新事業の創出」の取り組みを加速しつつ、パッケージ材料、機能性顔料、サステナブル樹脂の拡販を進めながら、コストダウン施策に取り組んでいく
- 年間配当は10円増配の110円

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2019年1月1日から12月31日までの12ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

業績概要



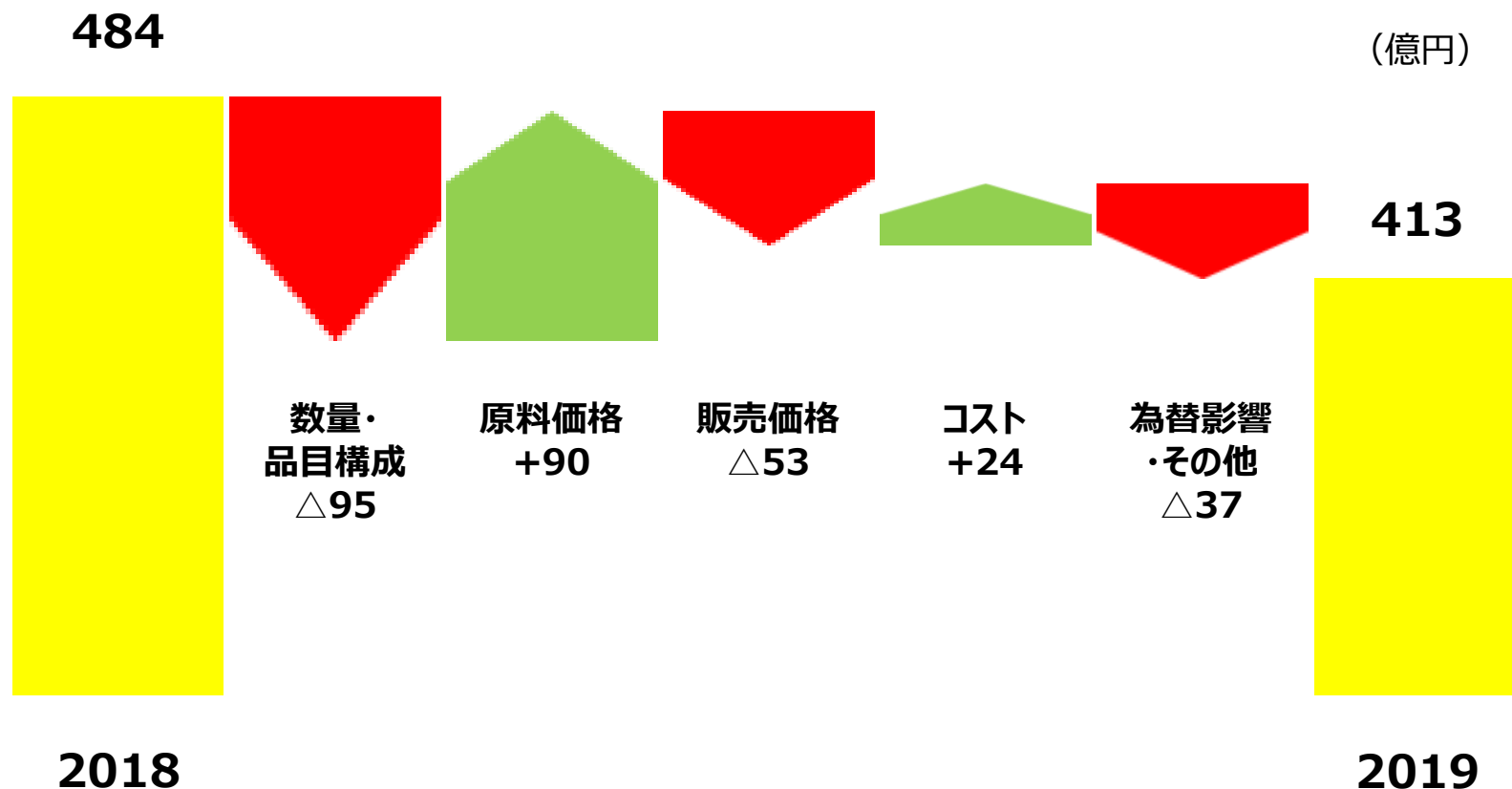
(億円)		2018	2019	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高		8,055	7,686	△4.6%	△1.3%
営業利益		484	413	△14.6%	△8.7%
営業利益率		6.0%	5.4%	—	—
経常利益		487	413	△15.2%	—
純利益*		320	235	△26.6%	—
1株当たり純利益 (円)		338.40	248.29	—	—
EBITDA**		814	674	△17.2%	—
ROE		10.4%	7.7%	—	—
平均レート	USD/円	110.46	109.11	△1.2%	—
	EUR/円	130.46	122.13	△6.4%	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

**EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

営業利益増減要因

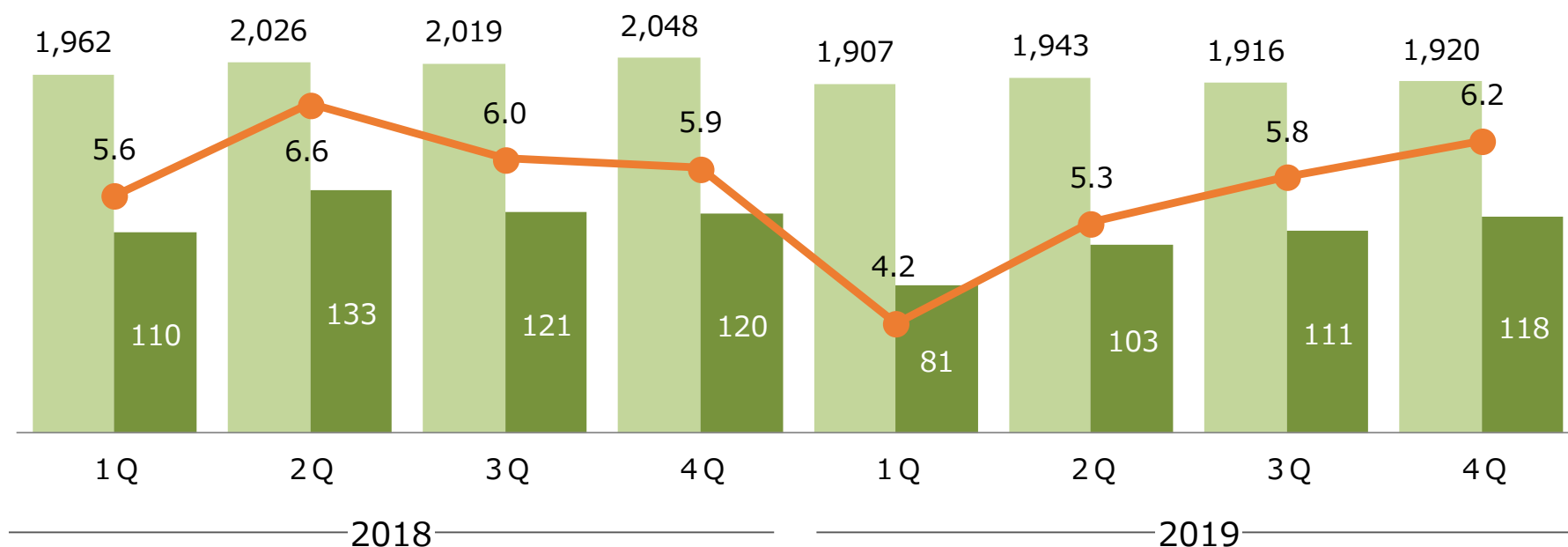
- 全般的に出荷数量が落ち込んだ。特に高付加価値製品の出荷低調が大きなマイナス要因
- ユーロ、トルコリラなどの新興国通貨安の影響も大きかった



四半期営業利益の推移（2018-2019年）

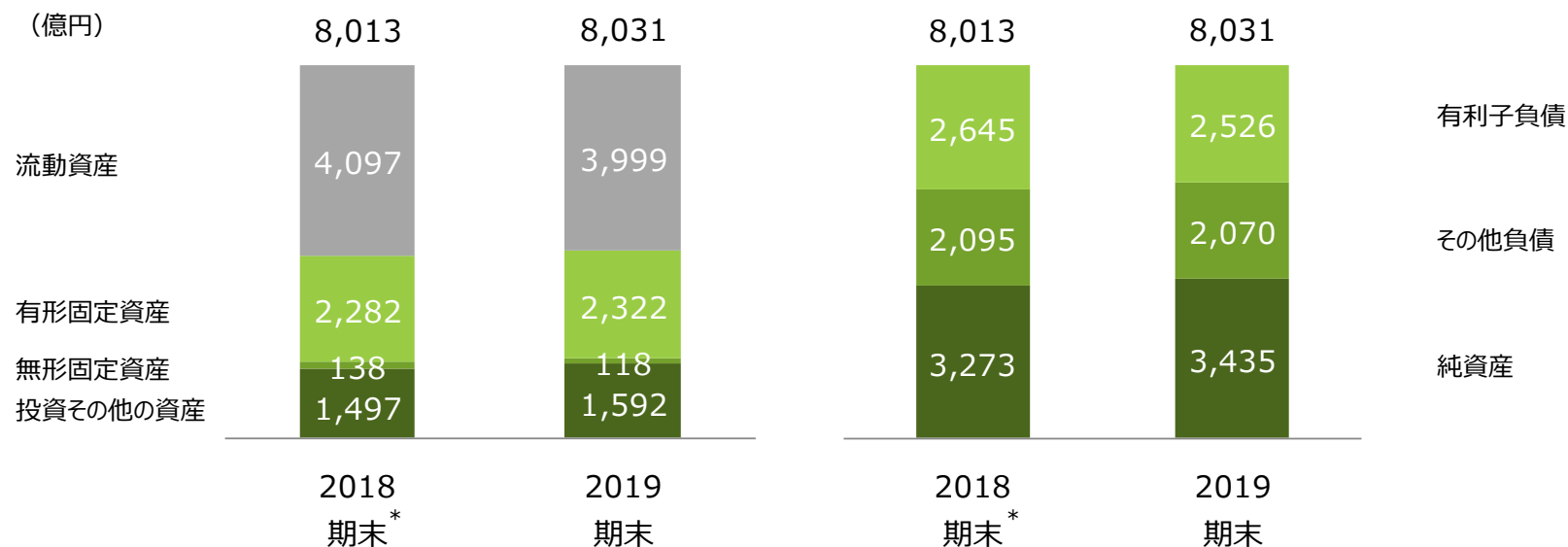
- 営業利益、営業利益率は2019年1Qを底に改善
- 2019年4Qは前年同期レベルまで回復

売上高（億円） 営業利益（億円） 営業利益率（%）



財務体質

バランスシート



財務体質

(億円)	2018 期末	2019 期末	増減
有利子負債	2,645	2,526	△ 119
D/CLレシオ **	44.7%	42.4%	
自己資本比率 *	37.3%	38.9%	
1株当たり純資産 (円)	3,158.05	3,304.34	
期末レート USD/円	110.39	108.71	

* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当期首から適用しており、2018期末数値は当該会計基準等を遡って適用しています

** D/CLレシオ： 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

セグメント別業績

(億円)

	売 上 高					営 業 利 益					営 業 利 益 率	
	2018	2019	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019
パッケージング & グラフィック	4,347	4,164	△ 183	△ 4.2%	+ 0.6%	199	192	△ 7	△ 3.6%	+ 8.0%	4.6%	4.6%
日本	1,203	1,147	△ 56	△ 4.7%	△ 4.7%	68	64	△ 4	△ 5.7%	△ 5.7%	5.6%	5.6%
米州・欧州	2,553	2,443	△ 110	△ 4.3%	+ 2.9%	100	82	△ 18	△ 17.2%	+ 4.6%	3.9%	3.4%
アジア他	711	687	△ 24	△ 3.4%	+ 0.6%	32	45	13	+ 39.0%	+ 43.4%	4.5%	6.5%
連結調整	△ 120	△ 113	7	-	-	△ 1	1	2	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,241	1,164	△ 77	△ 6.2%	△ 3.8%	150	108	△ 42	△ 28.0%	△ 25.4%	12.1%	9.3%
日本	345	297	△ 48	△ 13.9%	△ 13.9%	70	48	△ 22	△ 30.8%	△ 30.8%	20.3%	16.3%
海外	1,014	958	△ 56	△ 5.5%	△ 2.3%	79	60	△ 19	△ 24.6%	△ 19.5%	7.8%	6.2%
連結調整	△ 117	△ 91	26	-	-	1	△ 0	△ 1	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,821	2,686	△ 135	△ 4.8%	△ 3.6%	208	192	△ 16	△ 7.6%	△ 6.6%	7.4%	7.2%
日本	2,083	1,993	△ 90	△ 4.3%	△ 4.3%	140	116	△ 24	△ 17.2%	△ 17.2%	6.7%	5.8%
海外	1,004	919	△ 85	△ 8.4%	△ 5.1%	67	75	8	+ 11.1%	+ 14.9%	6.7%	8.1%
連結調整	△ 266	△ 227	39	-	-	1	2	1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 354	△ 328	26	-	-	△ 73	△ 79	△ 6	-	-	-	-
連結合計	8,055	7,686	△ 369	△ 4.6%	△ 1.3%	484	413	△ 71	△ 14.6%	△ 8.7%	6.0%	5.4%
USD/円	110.46	109.11		△ 1.2%		110.46	109.11		△ 1.2%			
EUR/円	130.46	122.13		△ 6.4%		130.46	122.13		△ 6.4%			

注) 2019年度より中期経営計画「DIC111」の開始に伴い、セグメントを変更しました。前年実績は変更後のセグメントに組み替えています。
セグメント変更については24ページをご覧ください。

中期経営計画「DIC111」

<https://www.dic-global.com/ja/ir/management/plan.html>


パッケージング&グラフィック

売上高

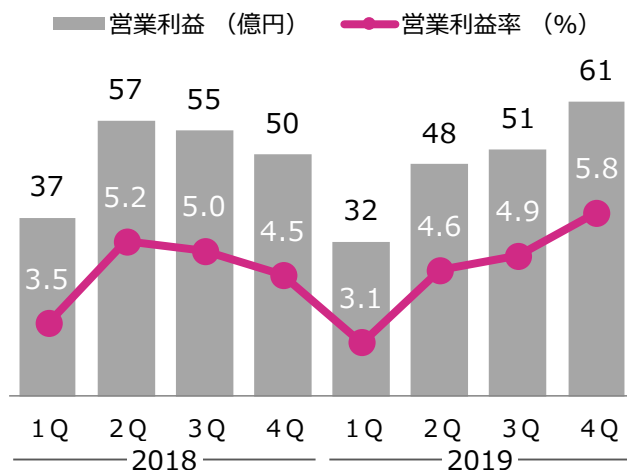
- ・ 現地通貨ベースで増収となったが、ユーロ及び新興国通貨安の影響により円貨ベースで目減り
- ・ パッケージ用インキは日本の台風によるマイナス影響を新興国の出荷堅調でカバーした

営業利益

- ・ 現地通貨ベースで増益。品目構成の改善、合理化効果、アジアでの原料価格低下が寄与
- ・ しかしながら、ユーロやトルコリラなど新興国通貨安の影響により円貨ベースで大幅に目減り

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018	2019	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019
パッケージング&グラフィック	4,347	4,164	△ 183	△4.2%	+ 0.6%	199	192	△ 7	△3.6%	+ 8.0%	4.6%	4.6%
日本	1,203	1,147	△ 56	△4.7%	△4.7%	68	64	△ 4	△5.7%	△5.7%	5.6%	5.6%
米州・欧州	2,553	2,443	△ 110	△4.3%	+ 2.9%	100	82	△ 18	△17.2%	+ 4.6%	3.9%	3.4%
アジア他	711	687	△ 24	△3.4%	+ 0.6%	32	45	13	+ 39.0%	+ 43.4%	4.5%	6.5%
連結調整	△ 120	△ 113	7	-	-	△ 1	1	2	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

	増減比	
パッケージ用インキ*	+ 1%	アジアや南米などの新興国を中心に増収。日本は大型台風などの影響を受けて荷動き低調
出版用インキ*	△6%	新興国を中心に成長したが、先進国での需要減少により全体では減収
ジェットインキ	+ 7%	製品切り替えによる端境期があったものの、全般的な需要増により増収
ポリスチレン	△11%	出荷数量は伸びたが、原料価格低下による製品値下げの影響により減収
多層フィルム	△0%	

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

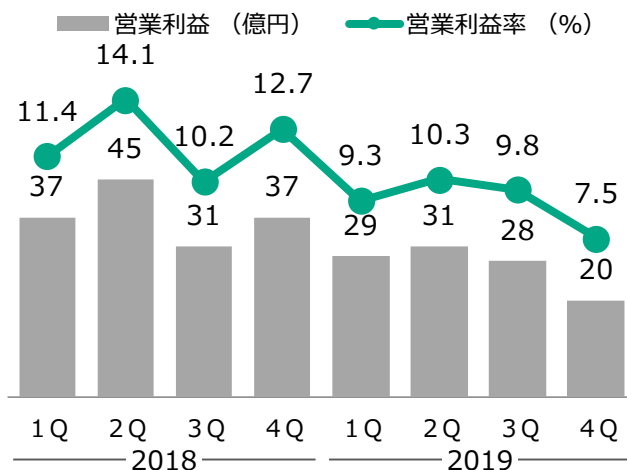
- カラーフィルタ用顔料の出荷が堅調な一方で、化粧品用顔料や一般顔料の出荷が低調
- T F T 液晶は競争激化に伴って製品価格が低下

営業利益

- T F T 液晶の製品価格低下のほか、一般顔料の出荷低調により減益
- 中国における環境規制の強化や貿易摩擦に伴って顔料の原料価格が上昇したことも利益を圧迫

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018	2019	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019
カラー & ディスプレイ	1,241	1,164	△ 77	△6.2%	△3.8%	150	108	△ 42	△28.0%	△25.4%	12.1%	9.3%
日本	345	297	△ 48	△13.9%	△13.9%	70	48	△ 22	△30.8%	△30.8%	20.3%	16.3%
海外	1,014	958	△ 56	△5.5%	△2.3%	79	60	△ 19	△24.6%	△19.5%	7.8%	6.2%
連結調整	△ 117	△ 91	26	-	-	1	△ 0	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

増減比		
一般顔料	△6%	インキ用の需要減などにより減収
機能性顔料	+ 0%	化粧品用は貿易摩擦の影響などにより出荷低調 光輝材が建材用途で成長
液晶	△22%	主に製品価格の低下により減収
ヘルスケア食品	△6%	天然着色料は伸長したが、健康食品が出荷低調

ファンクショナルプロダクツ

売上高

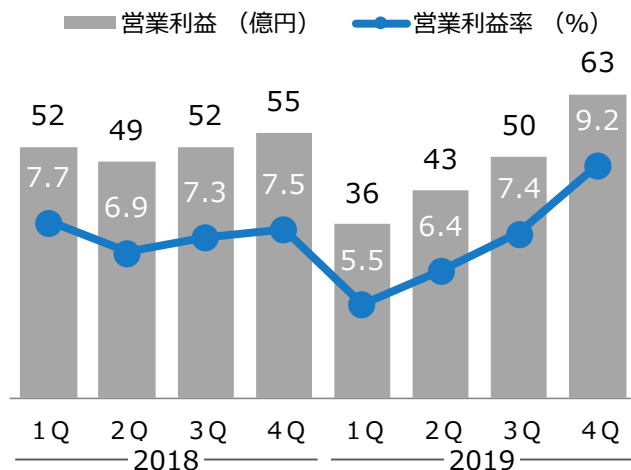
- 景気減速の影響により広範な分野で出荷が落ち込んだが、概ね1Qを底に回復がみられた

営業利益

- 全般的な出荷の落ち込みにより減益
- 営業利益率は、高付加価値製品の出荷が1Qを底に回復したことや原料価格の低下により徐々に回復
- 海外事業は増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018	2019	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019
ファンクショナルプロダクツ	2,821	2,686	△ 135	△4.8%	△3.6%	208	192	△ 16	△7.6%	△6.6%	7.4%	7.2%
日本	2,083	1,993	△ 90	△4.3%	△4.3%	140	116	△ 24	△17.2%	△17.2%	6.7%	5.8%
海外	1,004	919	△ 85	△8.4%	△5.1%	67	75	8	+ 11.1%	+ 14.9%	6.7%	8.1%
連結調整	△ 266	△ 227	39	-	-	1	2	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

増減比		
サステナブル樹脂*	△4%	中国を中心として出荷が低調
エポキシ樹脂	△6%	電気・電子向けで景気減速の影響を受け減収。4Qから増収に転換
PPSコンパウンド	△3%	世界的な自動車生産台数の減少影響を受けて出荷低調
工業用テープ	△16%	モバイル用途で景気減速の影響を受け減収
中空糸膜モジュール	△6%	半導体製造用途の出荷低調。3Qから増収に転換

連結貸借対照表

(億円)	2018 期末*	2019 期末	増 減
流動資産	4,097	3,999	△ 97
有形固定資産	2,282	2,322	40
無形固定資産	138	118	△ 20
投資その他の資産	1,497	1,592	95
資産合計	8,013	8,031	18
流動負債	2,556	2,101	△ 455
固定負債	2,184	2,495	311
負債合計	4,740	4,596	△ 144
株主資本	3,966	4,074	108
その他の包括利益累計額	△ 977	△ 947	30
(為替換算調整勘定)	(△676)	(△727)	(△51)
非支配株主持分	284	308	23
純資産合計	3,273	3,435	162
負債純資産合計	8,013	8,031	18
期末レート USD/円	110.39	108.71	
自己資本比率	37.3%	38.9%	
有利子負債残高	2,645	2,526	△ 119
現預金残高	198	168	△ 30

* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当期首から適用しており、2018期末数値は当該会計基準等を遡って適用しています

連結損益計算書

(億円)	2018	2019	増 減
売上高	8,055	7,686	△ 369
売上原価	△ 6,299	△ 6,032	267
販売費及び一般管理費	△ 1,273	△ 1,240	32
営業利益	484	413	△ 71
金融収支	△ 13	△ 13	0
持分法投資利益	38	25	△ 14
為替差損益	△ 8	△ 8	0
その他	△ 14	△ 4	10
経常利益	487	413	△ 74
特別利益	46	44	△ 2
特別損失	△ 45	△ 111	△ 66
税前利益	488	347	△ 142
法人税等	△ 150	△ 93	57
当期純利益	338	253	△ 85
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 18	△ 18	△ 1
親会社株主に帰属する当期純利益	320	235	△ 85
平均レート USD/円	110.46	109.11	
EUR/円	130.46	122.13	

特別損益の内訳	2018	2019
特別利益		
関係会社株式及び出資金売却益	7	16
受取保険金	2	14
固定資産売却益	4	14
投資有価証券売却益	33	-
特別損失		
減損損失	-	△ 31
固定資産処分損	△ 25	△ 24
買収関連費用	-	△ 19
災害による損失	△ 4	△ 15
リストラ関連退職損失	△ 15	△ 8
貸倒引当金繰入額	-	△ 6
過去勤務費用償却額	-	△ 4
関係会社株式及び出資金売却損	-	△ 3



インキ関連 など



BASF社グローバル顔料事業買収関連

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2018	2019	増 減
営業キャッシュ・フロー	510	506	△ 4
(債権流動化影響の控除後)	(+ 380)	(+ 637)	(+ 257)
投資キャッシュ・フロー	△ 384	△ 249	135
財務キャッシュ・フロー	△ 118	△ 268	△ 150
(債権流動化影響の控除後)	(+ 12)	(△398)	(△410)
現金及び現金同等物の期末残高	186	167	△ 19
フリーキャッシュ・フロー	126	258	132
(債権流動化影響の控除後)	(△4)	(+ 388)	(+ 392)
運転資本の増減額	△ 37	△ 82	△ 46
(債権流動化影響の控除後)	(△167)	(+ 48)	(+ 215)
設備投資・投融資	451	375	△ 76
減価償却費	328	331	3

2020年度：通期の業績見通し

(億円)		2019	2020 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高		7,686	8,100	+ 5.4%	+ 6.3%
営業利益		413	450	+ 8.9%	+ 8.4%
営業利益率		5.4%	5.6%	—	—
経常利益		413	440	+ 6.5%	—
純利益*		235	235	—	—
1株当たり純利益 (円)		248.29	248.30	—	—
EBITDA		674	729	+ 8.2%	—
設備投資・投融資		375	560	+ 49.5%	
減価償却費		331	345	+ 4.1%	
平均レート	USD/円	109.11	108.00	△1.0%	
	EUR/円	122.13	120.96	△1.0%	
ROE		7.7%	7.4%		
D/CLレシオ **		42.4%	41.6%		
年間配当／株 (円)		100.0	110.0		
配当性向		40.3%	44.3%		

* 親会社株主に帰属する当期純利益

** D/CLレシオ： 有利子負債／（有利子負債＋純資産）

2020年度：上期の業績見通し

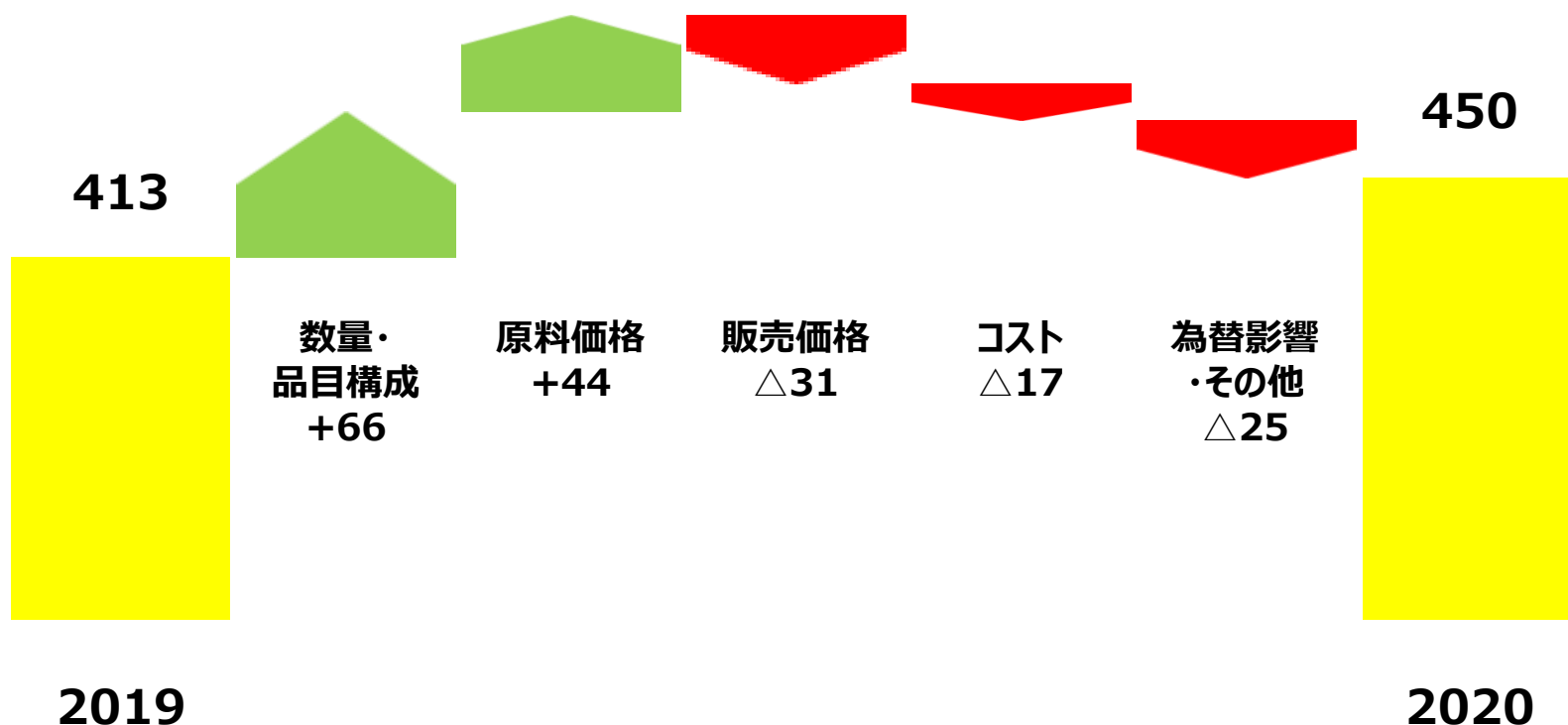
(億円)	2019 2Q	2020 2Q 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	3,850	3,950	+ 2.6%	+ 4.3%
営業利益	184	200	+ 8.7%	+ 9.7%
営業利益率	4.8%	5.1%	—	—
経常利益	190	190	+ 0.0%	—
純利益*	131	100	△23.8%	—
1株当たり純利益 (円)	138.73	105.66	—	—
平均レート	USD/円	109.83	108.00	△1.7%
	EUR/円	124.05	120.96	△2.5%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

2020年度：営業利益増減要因

- 高付加価値製品の出荷増が増益ドライバー
- 一方で新事業の創出に係るコスト増も見込む

(億円)



2020年度：通期のセグメント別業績見通し

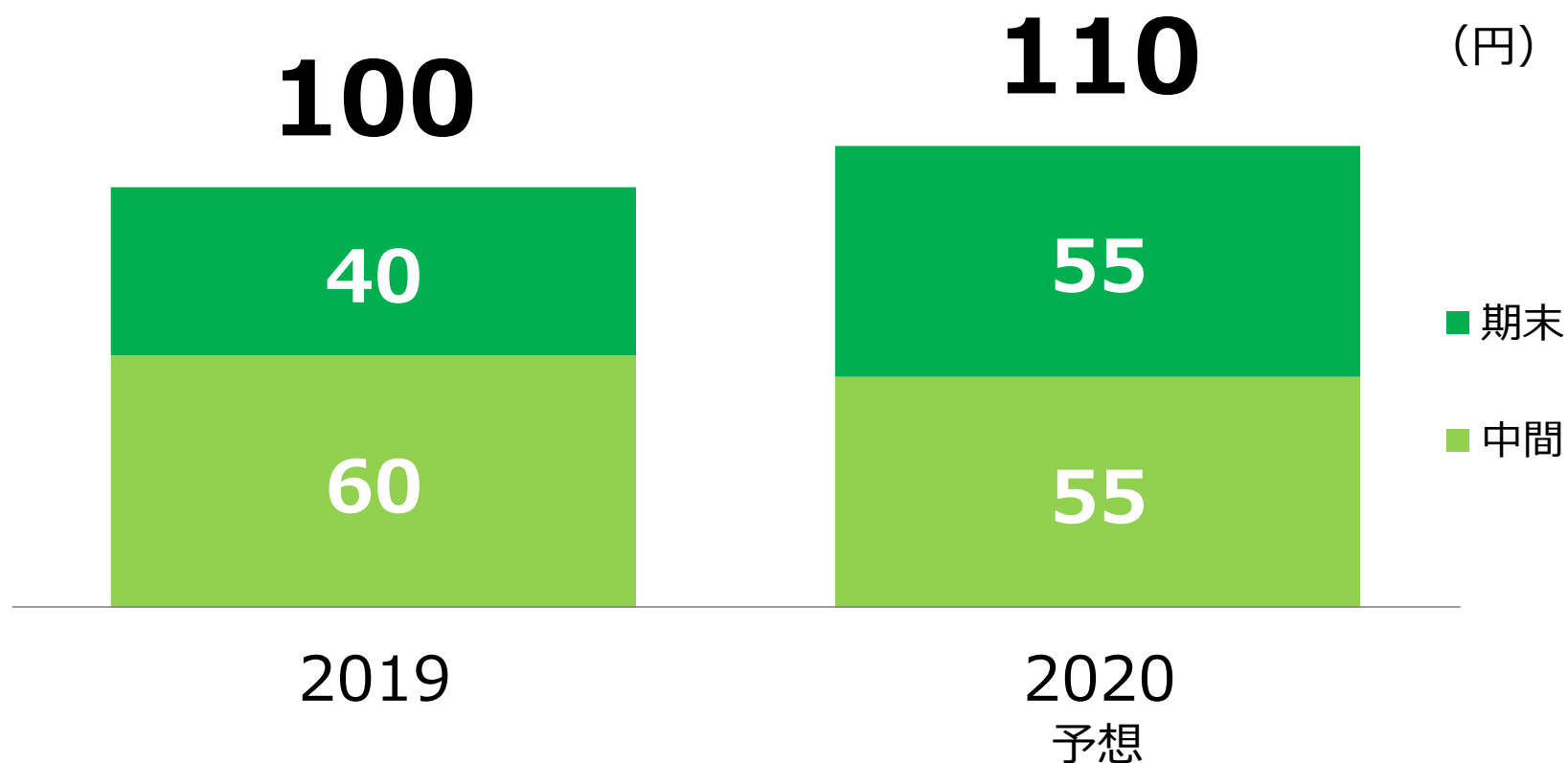
(億円)

	売 上 高					営 業 利 益					営 業 利 益 率	
	2019	2020 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019	2020 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019	2020 見通し
パッケージング & グラフィック	4,164	4,377	213	+ 5.1%	+ 5.9%	192	197	5	+ 2.7%	+ 1.1%	4.6%	4.5%
日本	1,147	1,168	21	+ 1.8%	+ 1.8%	64	61	△ 2	△ 3.8%	△ 3.8%	5.6%	5.3%
米州・欧州	2,443	2,589	146	+ 6.0%	+ 6.1%	82	89	7	+ 8.0%	+ 2.2%	3.4%	3.4%
アジア他	687	733	46	+ 6.7%	+ 10.8%	45	46	2	+ 3.6%	+ 7.3%	6.5%	6.3%
連結調整	△ 113	△ 113	△ 0	-	-	1	△ 0	△ 1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,164	1,211	47	+ 4.0%	+ 5.3%	108	131	23	+ 21.2%	+ 20.4%	9.3%	10.8%
日本	297	317	21	+ 7.0%	+ 7.0%	48	74	25	+ 52.4%	+ 52.4%	16.3%	23.2%
海外	958	992	34	+ 3.6%	+ 5.2%	60	57	△ 3	△ 4.4%	△ 5.0%	6.2%	5.7%
連結調整	△ 91	△ 99	△ 8	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,686	2,794	108	+ 4.0%	+ 5.0%	192	214	22	+ 11.4%	+ 12.6%	7.2%	7.7%
日本	1,993	2,059	65	+ 3.3%	+ 3.3%	116	129	13	+ 10.8%	+ 10.8%	5.8%	6.3%
海外	919	952	33	+ 3.6%	+ 6.6%	75	85	10	+ 13.5%	+ 16.5%	8.1%	8.9%
連結調整	△ 227	△ 217	10	-	-	2	1	△ 1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 328	△ 282	46	-	-	△ 79	△ 92	△ 13	-	-	-	-
連結合計	7,686	8,100	414	+ 5.4%	+ 6.3%	413	450	37	+ 8.9%	+ 8.4%	5.4%	5.6%
USD/円	109.11	108.00		△ 1.0%		109.11	108.00		△ 1.0%			
EUR/円	122.13	120.96		△ 1.0%		122.13	120.96		△ 1.0%			

2020年度：年間配当は10円増配の予想

予想

前年から**10円増配**。前年比+10%
 配当性向は**44.3%**



中期経営計画「DIC111」について

基本戦略

当初発表どおりで変更なし

数値計画

最終年度（21年）は、経済環境の先行き不透明感はあるが、BASF社グローバル顔料事業買収の効果も踏まえて再検討が必要

戦略投資

まずはBASF社グローバル顔料事業買収のクロージングに注力



BASF社グローバル顔料事業買収に向けて順調に進捗

スケジュール

当初発表どおり20年12月末までにクロージング予定

移管プロジェクト

買収完了後のスムーズな事業移管に向けて、欧州、米国、日本、アジア各地域の関係者で作業部会を設置。課題を洗い出し、アクションプランを遂行中

競争法クリアランス

19年12月から各国の規制当局に申請開始

独BASF社のグローバル顔料事業（BASF Colors and Effects）の買収契約を締結
<https://www.dic-global.com/ja/news/2019/ir/20190920124936.html>



主なトピックス（2019年1月～6月）

- 1月 インドネシア子会社が、「DKI-Jakarta - Company Environment Performance Appraisal Program」を受賞
- 2月 柔らかいエレクトロニクスを実現した、無線タイプのセンサを開発
- 2月 世界的に代表されるESG投資指標「FTSE4Good Index」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定
- 2月 スイスの投資大手RobecoSAM社発行のレポートに掲載
- 3月 北米にPPSコンパウンドの供給体制構築を決定
- 4月 1.5MWの自家消費用「太陽光発電設備」を5事業所に設置
- 5月 インドの中堅塗料用樹脂メーカーを買収
- 5月 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同とTCFDコンソーシアムへの参画



主なトピックス（2019年7月～ 12月）

- 7月 「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に 4 年連続で選定
- 7月 天然由来アスパラギン酸およびそれを活用した生分解性を有する高吸水性ポリマーの開発へ
- 8月 独BASF社のグローバル顔料事業（BASF Colors and Effects）の買収契約を締結
- 9月 天然青色色素「リナブルー®G1」がオーガニック化粧品の欧州統一基準「COSMOS」認証を取得
- 9月 サステナビリティ活動のベンチマーク「ダウ ジョーンズ サステナビリティ インデックス アジアパシフィック」の構成銘柄に 5 年連続で採用
- 9月 化学物質情報をグローバルで一元管理するシステムの確立へ
- 10月 バイオマス度 1 0 0 %のポリエステル系可塑剤を開発
- 11月 汎用性の高い速硬化型無溶剤接着剤“DUALAM”と新規無溶剤ラミネーションシステムを開発
- 12月 ポリスチレンの生産能力を増強

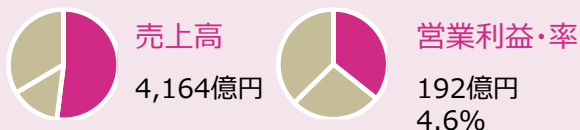
ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2019/>



事業セグメントと主要製品

提供価値

パッケージング & グラフィック



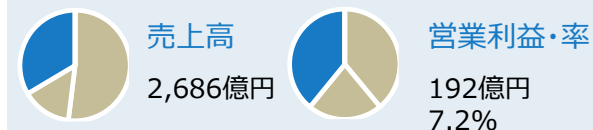
包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー & ディスプレイ



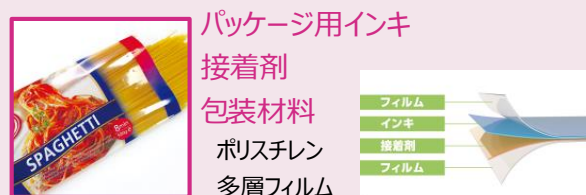
表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクツ

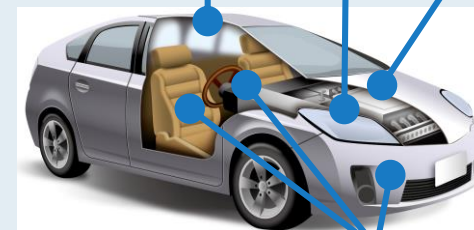
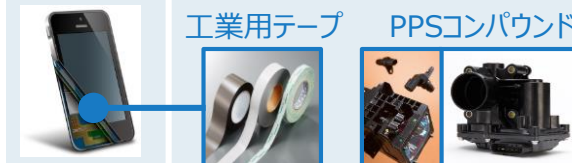
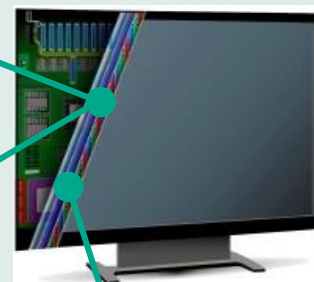
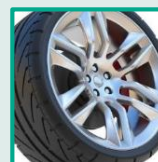
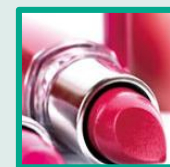


機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品



機能性顔料



新旧セグメントの主要製品

2018年 旧セグメント

プリンティングインキ
パッケージ用インキ 接着剤 出版用インキ セキュリティインキ
ファインケミカル
機能性顔料 一般顔料 液晶材料
ポリマ
ポリスチレン
水性樹脂 ポリエステル樹脂 アクリル樹脂 UV硬化型樹脂 ウレタン樹脂 エポキシ樹脂 不飽和ポリエステル樹脂
コンパウンド
ジェットインキ
PPSコンパウンド 樹脂着色剤
アプリケーションマテリアルズ
多層フィルム
工業用テープ 中空糸膜モジュール
ヘルスケア食品 天然着色料

2019年 新セグメント

パッケージング & グラフィック
パッケージ用インキ 接着剤 ジェットインキ セキュリティインキ 出版用インキ ポリスチレン 多層フィルム
カラー & ディスプレイ
機能性顔料 一般顔料 液晶材料 ヘルスケア食品 天然着色料
ファンクショナルプロダクツ
サステナブル樹脂 エポキシ樹脂 不飽和ポリエステル樹脂 PPSコンパウンド 樹脂着色剤 工業用テープ 中空糸膜モジュール

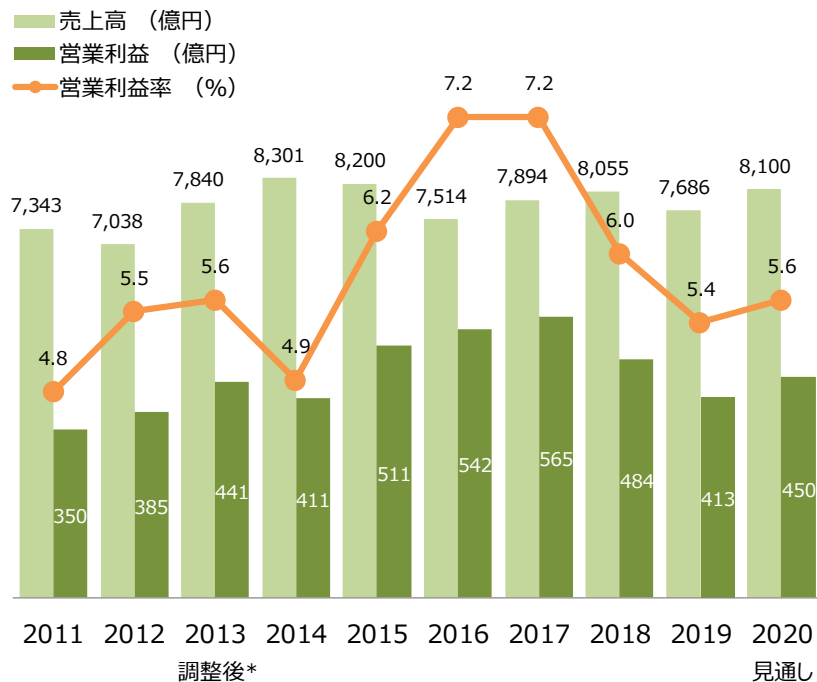
中期経営計画「DIC111」

<https://www.dic-global.com/ja/ir/management/plan.html>



業績の推移（参考）

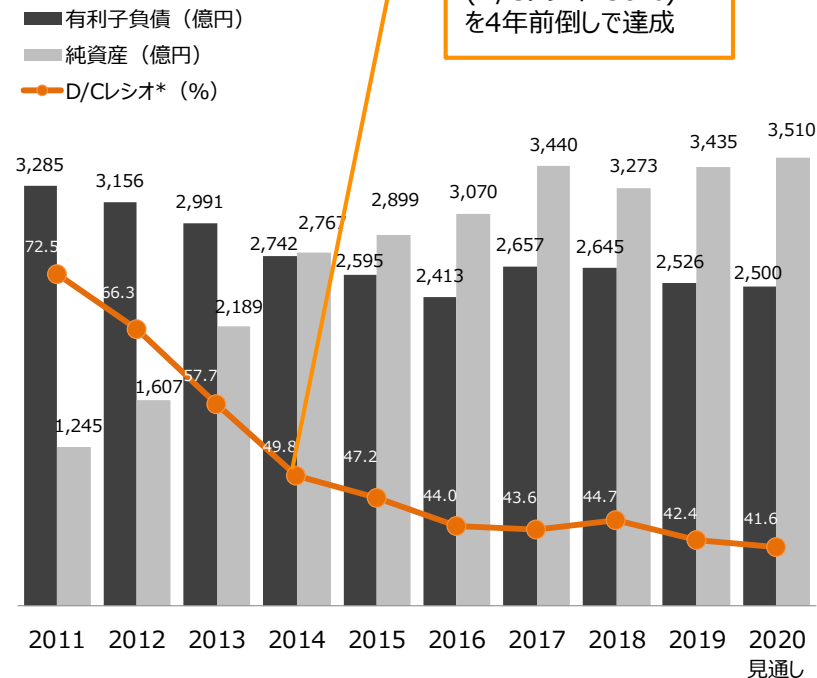
業績



営業利益率の改善

営業利益額の
成長

財務体質



D/CLレシオ*の改善

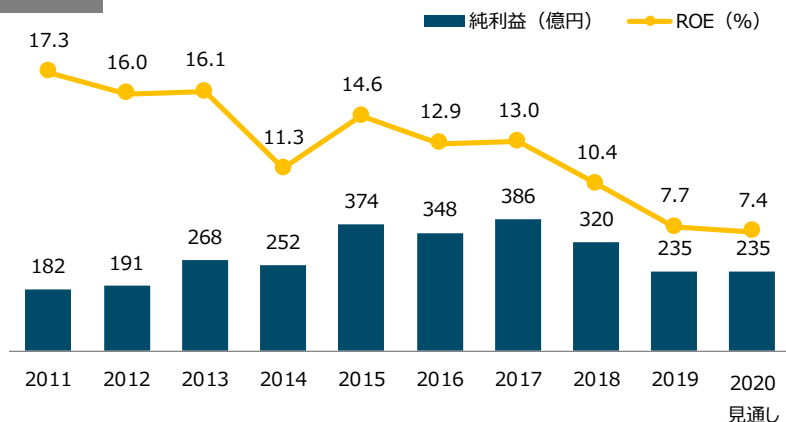
D/CLレシオ*
50%程度

*決算期変更の影響を調整しています

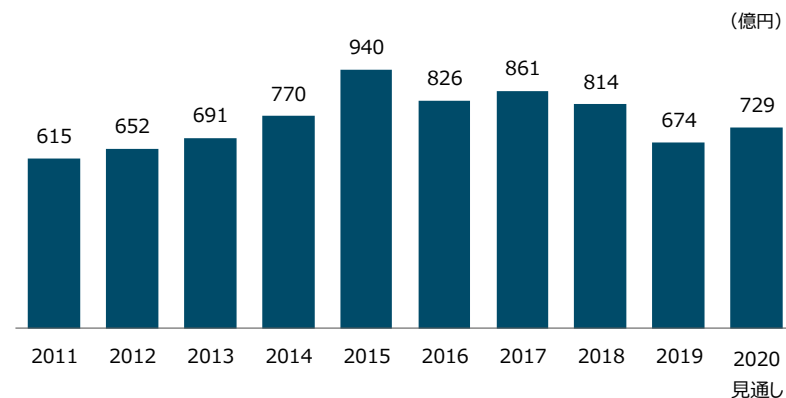
*D/CLレシオ：有利子負債／（有利子負債＋純資産）

業績の推移（参考）

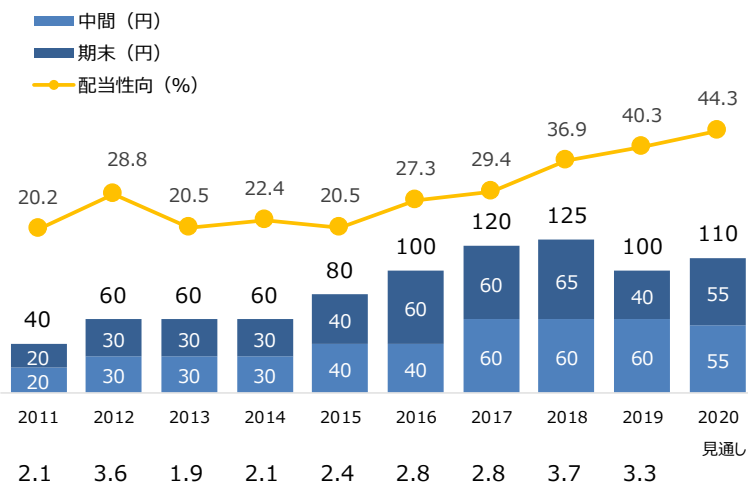
ROE



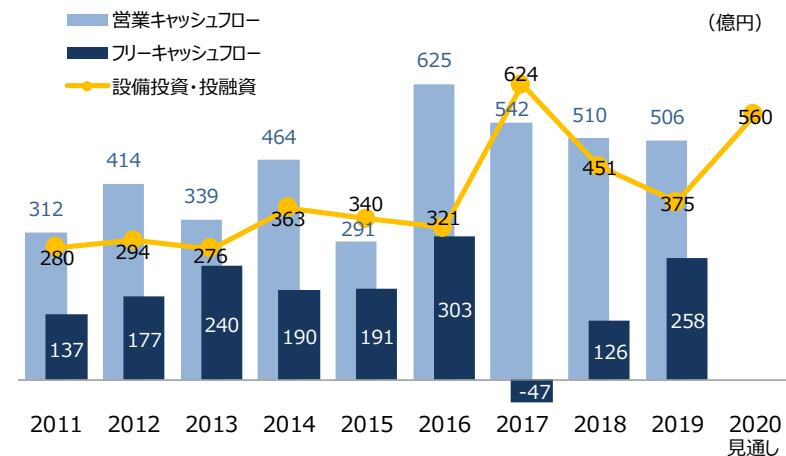
EBITDA***



株主還元*



設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



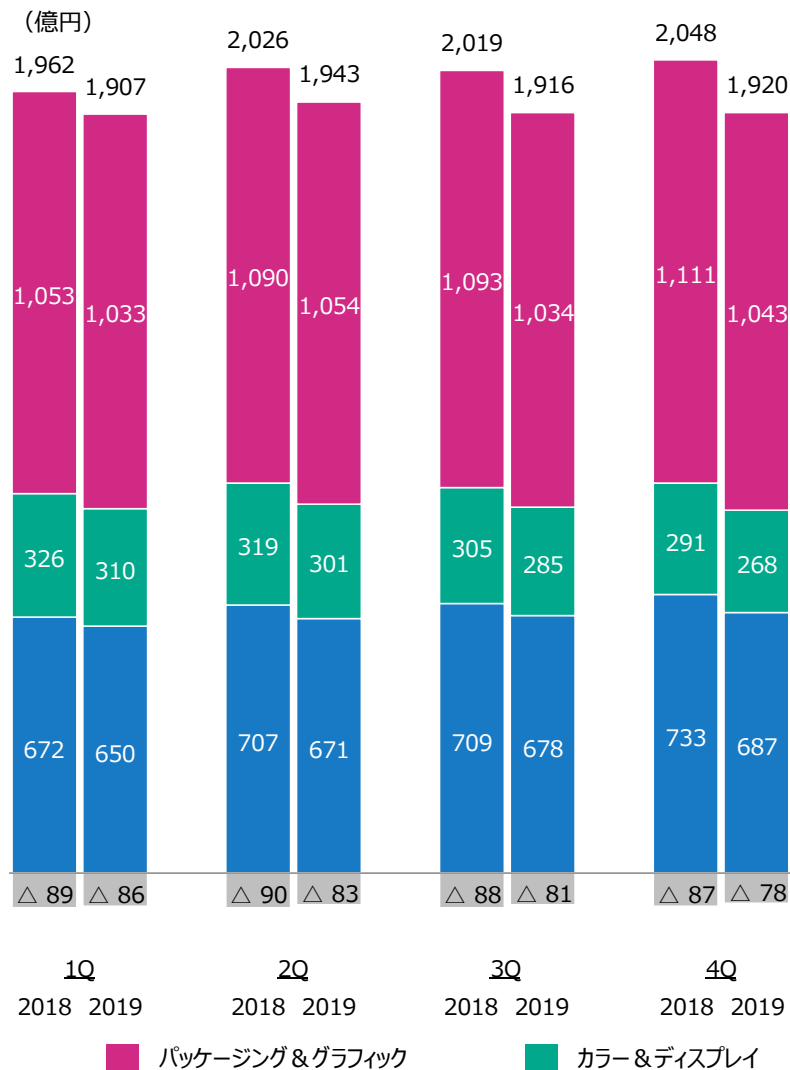
* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り：年間配当金/期末の株価終値

*** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

セグメント別四半期業績推移（参考）

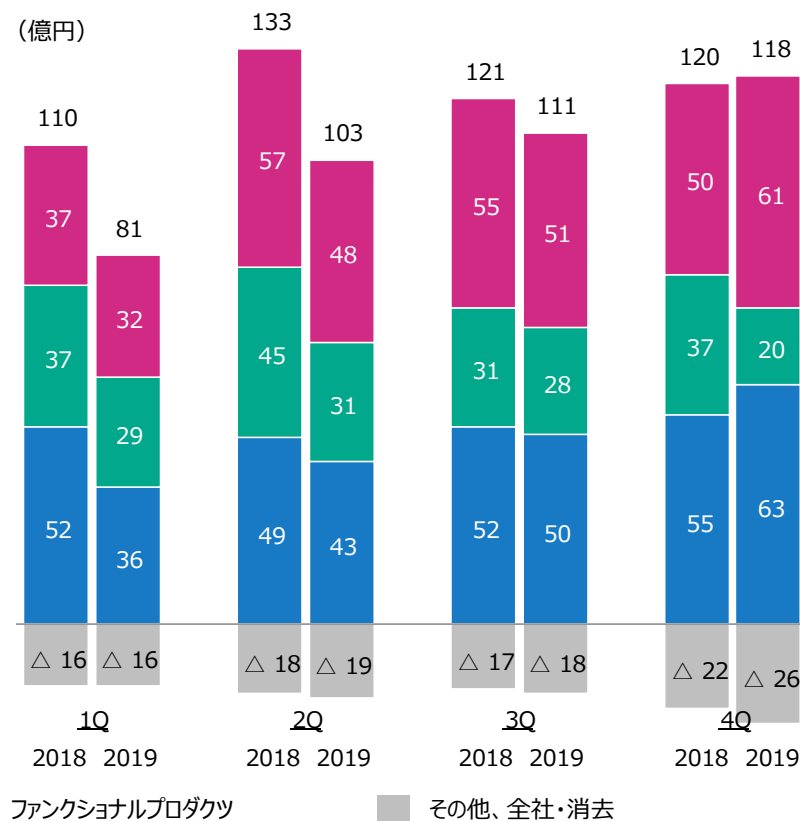
売上高



営業利益

通期の見通しに対する進捗率

	1Q	2Q	3Q	4Q
2019 (%)	19.7	44.9	71.9	100.8
2018 (%)	21.6	47.7	71.4	94.9



注) 2019年度より中期経営計画「DIC111」の開始に伴い、セグメントを変更しました。前年実績は変更後のセグメントに組み替えています。



Color & Comfort

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。